

長野市民病院
Nagano Municipal Hospital

長野市民病院広報誌

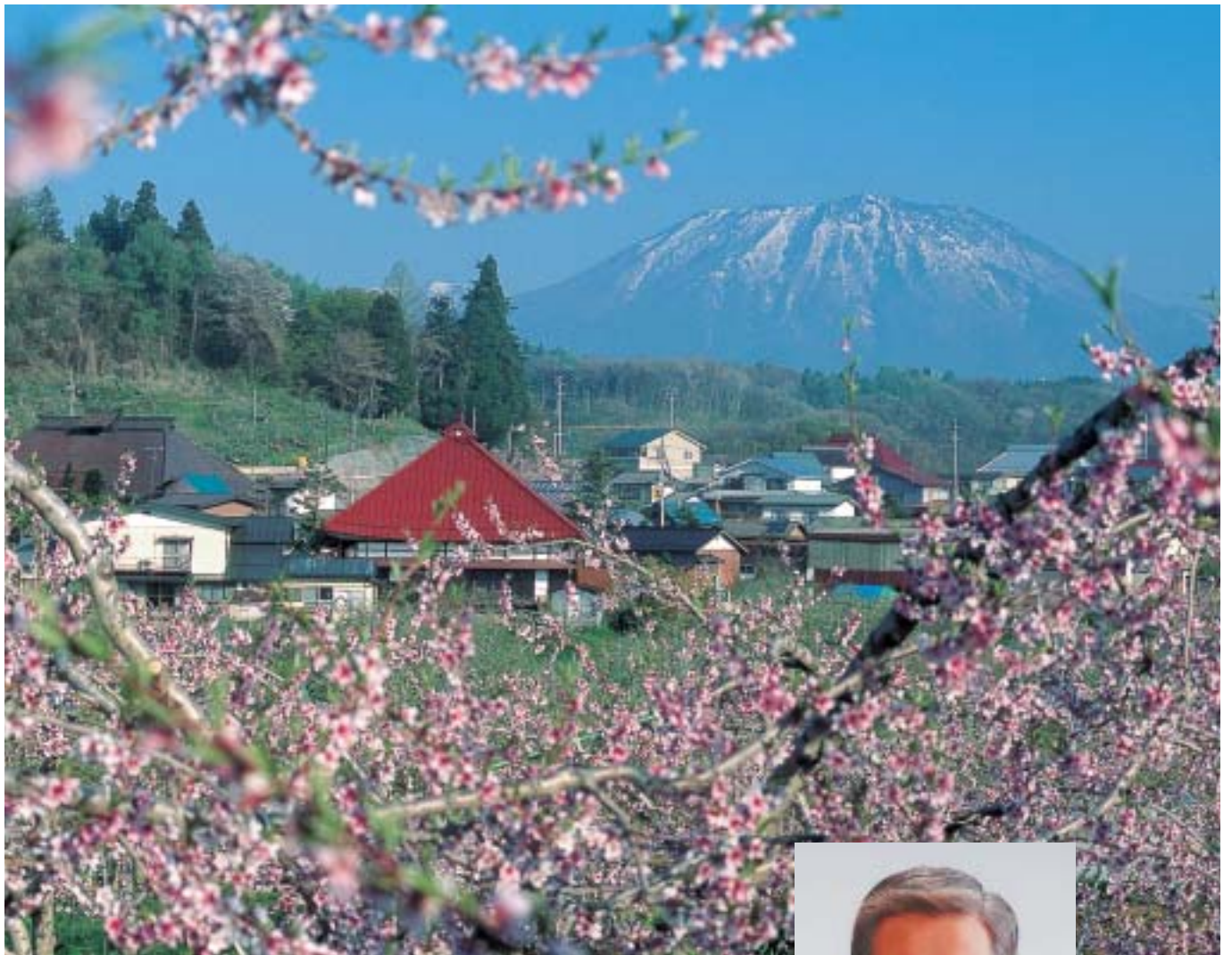
第9号

平成16年 4月15日

あした元気になあれ

長野市民病院 の理念

1. 命のいとおしさを大切に、人間味あふれる医療を提供します
2. 医療水準の向上に努め、高度で良質、安全な医療を提供します
3. 個人の人権と意思を尊重し、情報の開示、説明と同意を基本とする医療を提供します
4. 地域の保健、医療、福祉機関等との機能分担に配慮し、円滑な連携を図ります



桃の花と黒姫山



一〇〇床増床により
救急医療充実へ

長野市保健医療公社
理事長 鷺澤 正一

長年の市民要望に
え、平成七年に開院し
た長野市民病院も節目
の十年目を迎えること
ができ、ひとえに地域住民の皆様を
はじめ、ボランティアや医師会など
関係の皆様のご支援の賜物
と厚く御礼申し上げます。

現在、医療は種々の制度改革や医
療事故問題など大きな転換期にあり
ますが、当院におきましても、全国
の病院が目標としている「病院機能
評価」の認定を通じてあらゆる業務
の点検と改善に取り組みなど、診
療・看護の質の向上に日夜努力して
おります。

本年度も長田病院長を中心に職員
が一丸となり「人間味あふれる、安
心・安全で質の高い医療」を実践し
てまいります。また救急医療充実な
どのため一〇〇床の増床を図る新病
棟建設が市によって着手されました
が、市民の皆様のご掛け替えのない財
産である長野市民病院が恒久的な施
設としてより良いものとなるよう、
多方面の皆様のご協力ご意見を賜り
ながら万全を期してまいります。

★医療事故を防ごう★

4月から医療安全管理室設置

開院10年目、より安全な医療へ

五十嵐君与（リスクマネジャー）

最近、医療事故について毎日のように新聞紙上をにぎわせています。

医療の現場でのリスクマネジメン（危機管理）の取り組みは大きな課題となり、組織的なリスクマネジメンの必要性がクローズアップされるようになりました。当院では、一九九九年に医療事故予防対策委員会が設置され、全職種での統一した事故防止への取り組みがされるようになりました。そして、二〇〇一年六月より院内情報システムにインシデントレポート（ヒヤリ、ハット報告）システムを導入し、全職種のインシデントに対する報告方法を統一しました。毎回委員会で、レポート内容の確認や、事故防止のための組織的なシステムの改善など検討してきました。また、事故防止のための研修や講演などを開催してきました。

する意識を向上させることが大切です。

今年三月からコンピュータシステムが新しくなるのに合わせて、インシデントの報告システムもより充実したものになるよう検討してまいりました。四月から「セーフプロデューサー」という呼称の新しいシステムとして稼動しています。また、当院では患者さまをフルネームでお呼びし、注射などの処置時は患者さまと共に確認することとしています。患者さまのより安全を守るために、入院患者さま全員に「リストバンド」を装着していただくことになりました。院長直轄の「医療安全管理室」も設置されました。より安全な医療をめざし、職員一丸となって取り組んでいきたいと思っております。

■インシデントとは■

患者さまに具体的な被害を負わせなかったが、日常の診療の現場でヒヤリ、ハットした事例。

患者と薬を再確認

用法・用量

気をつけて

15年度一年間に報告された長野市民病院のインシデントは、合計で1171件。

最も多いのは、内服薬、外用薬、注射、点滴の364件で全体の約30%を占めています。

※誤薬を防ぐために、『医薬品に関する5つのR』に注意をしましょう。

5つのR（Right=正しい）とは
『正しい患者』『正しい薬剤名』『正しい量』
『正しい投与経路』『正しい時間』

患者の誤認防止

▶患者誤認防止のため、与薬時の患者確認は特に注意して行いましょう。

誤薬防止

▶類似した名称や形態の薬には特に注意しましょう。





耳鼻いんこう科統括科長
野村 康

花粉症は草木の花粉がアレルゲンとなり、くしゃみ・鼻水・鼻閉などの鼻炎症状などを起こします。特に、花粉特有の季節性と地域性を持つことが特徴です。花粉症の症状を軽減させる為に、抗原からの被曝を避ける抗原回避（予防法）と、抗原被曝に際して生じるアレルギー反応を抑える治療法に分けることができます。抗原回避としては原因となる花粉が鼻や目にはいらないようにする事です。マスクやメガネなどの防御用具を上手に使用されることです。また、外出時は花粉が衣服に付きにくい素材の洋服にすることも必要です。洗濯物や布団干しなども花粉が付かない工夫が必要でしょう。アレルギー反応を抑える治療法としては、①薬物療法があり、症状に応じて抗ヒスタミン薬、ケミカル

メディエーター遊離抑制剤、ロイコトルエン受容体拮抗薬などの抗アレルギー薬の内服やステロイド剤、抗アレルギー薬

の点鼻・点眼薬を併用します。その他として

は②減感作療法、③手術療法（鼻粘膜レーザー焼灼）があります。手術療法は、アレルギー反応の生じている時期は効果が低く、又薬物療法にしても季節前投与が望ましいと言われていています。スギ花粉症の最盛期であるこの時期一番重要なのは本来の予防法である抗原回避と言えるでしょう。



◆回答
より円滑な診療を行うため、開院以来使っていましたコンピュータの更新にあわせ自動再来受付機を導入

外来患者・六十二歳・女性

二月一日より受付票という大金を使った機械（再来受付機）が導入されましたが、これですぐ各科に入力でき受付がスムーズにできるのならば良いですが、長野市は税金をただムダ使いをしているだけだと思います。
受付もスムーズに行きません。ぜひ意見を消さないで下さい。聞くところによると都合の悪いことは一つも院内誌には載せられないとの事です。

みなさまの
声

市民病院では、開院以来、外来・入院の患者さま、お見舞い等の皆さまから様々なご意見ご要望をいただいております。
毎月、貴重な意見を集約して職員に回覧。できることから改善、検討を加えております。最近お寄せいただいたものの中から選んで紹介します。今後とも叱咤激励をお願いします。

◆回答
身体障害者の駐車場につきましては、利用者の方からのご要望によりこのたび新たに五台分を増設し、既設分と合わせて十台となりました。しかしながら、ご指摘のとおりすべてのスペースを完全に身体障害者の方が利用できるという問題が発生しています。そこで駐車場の入口に

障
害者の駐車場を作っていただけ
きありがとうございました。
ただ場所が増えても車イスの私達が使えるかが問題です。どこでも止められる時間は、たしかに空いているのですが、混み出すと、もうマーク関係なく普通に一般の人が止めていきます。場所を作ったら終わりではなく、きちんと利用する人が使えるようにしていただきたい。（以下省略）
二十歳・男性

いたしました。
これにより各診療科では、予約患者さまの受付状況が把握でき、スムーズな受付処理ができます。設置してまだ日が浅いため、不慣れな点がありご迷惑をおかけすることもありますがご了承ください。
また、八月には診察の順番待ちの状況を掲示板によりお知らせするシステムを新設いたします。自動再来受付機より発行される受付票の番号を見比べることに、およびその待ち時間がわかるようになります。

当院を上手に利用していただくために

長野市民病院では地域の医療機関と連携し、それぞれの役割（機能）に応じた医療の提供をさらにすすめたいと考えています。まず一般的な病気（かぜ、胃炎、簡単なケガ、高血圧など）は診療所（かかりつけ医＝ホームドクター）で診察を受け、一方専門的な検査や入院治療は病院へ紹介してもらうというのが病診連携です。

紹介状を お持ちください

かかりつけ医からの紹介状をお持ちいただきますと、今までの検査や

治療の経過がわかるので、同じ検査は省略できるなど当院での診療がスムーズに行え、待ち時間も短縮されます。かかりつけ医からの連絡で診察日時予約も可能です。なお病診連携をすすめる国の制度により紹介状のある方は初診料とは別の特別初診料（一、五〇〇円）が免除されます。

お近くの病医院を ご紹介いたします

現在当院を定期的に受診され、症状が安定されている方でお近くの診療所、病院を希望される方は遠慮なくお申し出下さい。紹介先の病医院

とは常に連絡を取り合っていますので、何か病状に変化があったり、入院が必要になったりした場合は当院にご紹介いただけます。

当院は登録医制度、 開放型病床制度を とっています

当院に登録したかかりつけ医が病院に赴いて紹介患者さまの医療情報交換、入院中の患者さまの訪問、病院の高度医療機器の利用、病院医師等と勉強会を行ったりする制度です。現在地域の医師会、歯科医師会の会員三〇〇名が市民病院の登録医となっております。

身体障害者用の駐車場所のご案内を
すると共に、身体障害者の方を優先
していただくようお願いしております。
今後とも駐車場利用者の方々への
ご理解を得られるようご案内を徹底
してまいります。

昨日は気づかなかった、今朝
早々に梅だろうと思える花木
がすこやかに飾られていた。造花か
な？そんな気持ちでソット近づいて
良く見た。本物である。看護師さん
の心配りであろう。楽しくなった。
思いもよらない美しさに！そして忙
しく立ち向かっておられる中に、こ
んな暖かい心遣いになれしくなりま
した。

本当にありがとうございます。
（四階入院患者・六十七歳・男性）

救急の場合は・・・

長野地区の救急医療体制

休日や夜間に「かかりつけ医」に連絡することができない場合で比較的病状が軽い方は市消防局の休日夜間当番医テレフォン案内（TEL228-0080）にお問い合わせ下さい。長野市急病センター、在宅当番医などを紹介してくれます。症状の重い方は119番に電話して、救急車を要請して下さい。

当院の救急患者様の受入れ 体制は次のとおりです

- ①時間内、時間外を問わず当院が標榜している診療科への救急患者は原則として全て受入れることを基本としています。
- ②患者からの受診の電話には看護師が対応し、他医療機関、救急隊からの連絡は直接当直医が対応します。当直医は必要があれば各科のオンコール医師（当番待機医師）に診察を依頼します。
- ③次の場合はやむを得ず他医療機関で診察を受けていただく場合があります。
 - 全身管理を必要とする熱傷患者（救命救急センターの長野赤十字病院へ）
 - 産科、精神科など標榜科以外の患者
 - 満床の場合で、入院が必要と予想される患者
 - 当該担当医師が不在あるいは長時間に及ぶ手術中の場合

現在市民病院では緊急医療を充実するため、18年度中をめどに救急部の創設と100床の増床（現在の300床→400床）を計画し、満床で受け入れができないことのないように市民が安心できる医療現場をつくりたいと考えております。



当院でも携帯電話が一部エリアで解禁

携帯電話が普及し、入院中も家族や友人と気軽に話したいという要望が多く寄せられます。今まで医療機器への悪影響を理由に全面禁止としてきましたが、入院患者さま等の利便性を考慮し、三月一日から次の場所での使用を認めることにいたしました。

*携帯電話のかけられる場所

- ・三階から五階の各病棟のラウンジ東側の指定場所
- ・個室
- ・一階正面玄関入り口東側の公衆電話コーナー
- ・救急外来待合の一部

*注意事項

- ・携帯電話使用時はマナーモード

菅谷前県衛生部長が講演

ボランティアグループはづきの会で

一月十七日(土)はづきの会主催による講演会が市民健康ホールで開催され、会員ら八十名余りが聴講しました。

講師は、前県衛生部長の菅谷昭氏。演題は、『私の人生・もう一つの旅・チェリノブイリ』。

先生は、平成七年に信州大学医学部第二外科を退職され、ベラルーシ共和国に渡り、首都ミンスクの国立

甲状腺がんセンターにおいて小児甲状腺がんの外科治療を中心に医療支援活動に従事されました。

この動機は、ボランティア活動ではなく、あくまでも自分自身のためと強調されておりました。医者になろうと思ったのも、『あの医者に診てもらってよかったなあとみんなに思われる』こと。

ベラルーシは、一九八六年の原発

で、また、使用可能場所以外では電源を切ってください。

・ペースメーカー、埋め込み式除細動器や輸液ポンプ等の医療機器を使用中の患者さまは、携帯電話コーナーに近付かないで下さい。

病院機構一部改正

病院機構の一部改正が、三月二十九日の理事会で承認され、四月一日からスタートしました。

*主な新設部署と改正点

- ・中央診療部を診療技術部に
- ・診療部臨床研修部門の新設

事故により、多くの子供たちが甲状腺がんに侵され苦しんでいます。医療機器や薬、診療材料の乏しい環境で五年半にわたる長期滞在中の患者の様子、患者との触れ合いをスライドを使って講演されました。

(先生は、このほど松本市長に就任。)

- ・病院長直属の医療安全管理室
- ・副院長直属の地域医療連携室
- ・栄養科を診療技術部へ
- ・医療情報課にシステム管理室と診療情報管理室を
- ・医事課に医療相談室と医事係
- ・総務課に人事総務係、企画財務係、管理係
- ・呼称の変更

総看護師長を看護部長に
副総看護師長を副看護部長に
事務長を事務部長に

*四月一日付人事異動

(昇任発令・課長補佐級以上)

- ・診療技術部長兼臨床検査科長・リハビリテーション科長・臨床工学科長・栄養科長 亀子光明
- ・薬剤部長 多田昭博
- ・薬剤科長 斉藤和彦
- ・看護部看護師長 伊藤幸子
- ・看護部看護主任 小林智美
- ・看護部看護主任 花岡ゆり枝
- ・総務課長補佐兼人事総務係長 北原啓祐
- ・総務課長補佐兼企画財務係長 渡辺敏明

3月1日から稼働 新医療情報システム

三月一日より、新医療情報システムが稼働いたしました。開院時から使用しておりましたシステムが九年経過して陳腐化や老朽化が進んだため新しいシステムに更新したものです。このシステムの主な目的は、患者サービスの向上です。外来で従来と違ったのは、新たに『再来受付機』を『エントランスホール』正面に設置したことです。

この再来受付機は、患者さまの受付情報、外来診察順番や待ち時間などを正確に把握し、検査・処方・放射線システムなどと連携して診療・会計待ち時間の短縮を図ります。現在は試行中で、不便をおかけしていますが八月には、再来受付機と連動した診察順番や病院からのお知らせなどを表示する大型パネルを外来待ち合いに設置いたします。なお、今後再来受付機は自動精算機としても使う予定です。

医療の質的向上に必要なインフォームドコンセント（説明と同意）を推進するため、各種説明書や同意書および検査結果・診断レポートなどを迅速に提供いたします。また、医療事故防止対策として、八月より注射・輸血施行時のバーコードによる照合チェックや手術室での患者認証システムが稼働する予定です。更に、経営管理システムの導入により、診療データ以外に人事、物流、

財務データなどを集約して多角的な分析を行い健全な病院経営を目指します。



スノーボード部

スノーボード部代表
3階西病棟
宮崎美華

平成一五年一月一日にスノーボード部が発足しました。活動内容として、月二〜三回集まって近隣のゲレンデで腕を磨きます。また、年一回合宿（一泊）を行っています。合宿は、主に志賀高原で行っていますが、月の練習は各々の場所で行っています。今後オフシーズン中は登山等体力作りをしていく予定です。

現在主に活動している人数は五名であり、合宿等も竹前副院長率いるスキーヤーの皆さんと行っています。スノーボードは個人スポーツではありますが、一緒に上達していく仲間はとても大切です。まだまだ部員の人数が少ないため、ボード歴があり一緒に滑っていいかなと思う方、またこれからスノーボードを始めようと思っている方、一緒に滑りにいきませんか？

仲間を思いやる友達に

めぐまれて

総務課 神林ひとみ

人の命を第一に救出に向う消防士に憧れて消防の救助大会を見に行った時のことです。

長野市民病院へのお問い合わせ

〒381-8551 長野市富竹1333-1
TEL 026-295-1199
FAX 026-295-1148
ホームページ <http://www.hospital.nagano.nagano.jp/>

財団法人 長野市保健医療公社
長野市民病院

Nagano Municipal Hospital

大会では、多くの観客と声援をおくる人達。出場する選手の意気込みと緊張感とで会場の雰囲気は、熱気で包まれていました。皆が一段となって応援し、お互いを励ましあい、仲間を思いやる光景を見て私はとても感動させられました。そんな人との関わりの中で自身を向上させてくれる人に出会えたことに感謝とエールを贈りたいと思います。
（平成一六年二月二十九日 長野市消防局 神林和弘さんと結婚）

な が た あ つ お
 ■ 発 行 人 : 長 野 敦 夫
 ■ 編 集 : 長 野 市 民 病 院
 広 報 誌 編 集 委 員 会

平成16年4月15日現在

外 来 診 療 担 当 日 一 覧

長 野 市 民 病 院

	月	火	水	木	金	備 考	専 門
内 科 (消化器科) (循環器科) (呼吸器科) (神経内科)	○岡田 和義 平井 康晴 ○今井 康晴 立岩 伸之 平林 直章 竹花 直樹 ○山本 寛二	○岡田 和義 山崎 康晴 ○丸山 隆久 ○市川 真也 床尾 万寿雄	○山崎 誓一 長田 敦夫 平井 一也 ○長谷部 修 丸山 隆久 ○平林 直章 床尾 万寿雄 山本 寛二	岡田 和義 山崎 誓一 ○立岩 伸之 丸山 隆久 市川 真也 ○床尾 万寿雄 掛川 哲司	一 一也 ○平井 康晴 長谷部 修 平林 直章 ○竹花 直樹 ○山本 寛二	○印は初診担当ですが、紹介の場合はこの限りではありません。	長田 敦夫 (消化器・肝臓・脾臓) 平井 康晴 (呼吸器) 今井 康晴 (消化器・肝臓) 立岩 伸之 (腎臓・脾臓・透析・糖尿病) 平林 直章 (消化器・内視鏡) 竹花 直樹 (循環器) 山本 寛二 (神経内科) 掛川 哲司 (腎臓) 床尾 万寿雄 (循環器) 山崎 誓一 (消化器) 丸山 隆久 (呼吸器) 市川 真也 (内科)
小 児 科	○青沼 架佐 田村 秋穂 信大医師	田村 秋穂 青沼 架佐	青沼 架佐 田村 秋穂	田村 秋穂 青沼 架佐	青沼 架佐 田村 秋穂	○印はカウンセリング(要予約)です。 午前10時以降	青沼 架佐 (発達・神経・循環器・心身症) 田村 秋穂 (免疫アレルギー・血液・腎臓)
午後 専門外来 (予約制)	乳児一般健康診査 小児心療内科外来	小児心療内科外来	免疫アレルギー腎臓 小児心療内科外来	循環器外来 小児心療内科外来	神経外来 小児心療内科外来		
外 科 (呼吸器外科)	宮川 雄輔 宗像 康博 濱中 一敏	大野 康成 関 仁誌 西村 秀紀	酒井 宏司 宗像 康博 濱中 一敏	一 大野 康成 西村 秀紀	宮川 雄輔 関 仁誌 一		宗像 康博 (消化器・胃大腸) 西村 関 (呼吸器・乳腺・甲状腺) 大野 康成 (消化器・肝臓・胆道・脾臓) 宮川 雄輔 (消化器・肝移植) 濱中 一敏 (肝臓) 酒井 宏司 (呼吸器) 濱中 一敏 (外科)
整 形 外 科	○松永 大吾 南澤 育雄 木下 久敏 ○竹山 和昭 ○松田 智	松田 智 竹山 和昭 一 ○向山啓二郎 ○南澤 育雄	松永 大吾 向山啓二郎 木下 久敏 ○竹山 和昭 ○南澤 育雄	松田 智 竹山 和昭 一 ○向山啓二郎 ○木下 久敏	一 南澤 育雄 ○松永 大吾 ○木下 久敏	○印は初診担当です	南澤 育雄 (骨折・リウマチ性疾患・股関節) 木下 久敏 (脊椎・脊髄) 松田 智 (上肢・末梢神経) 竹山 和昭 (脊椎・関節疾患) 松永 大吾 (整形外科一般) 向山啓二郎 (整形外科一般)
形 成 外 科	○滝 建志 三島 吉登	○信大医師 三島 吉登	○滝 建志 三島 吉登	○三島 吉登 滝 建志	○滝 建志 三島 吉登	○印は初診担当です	
脳神経外科	徳重 一雄 ○石坂 繁寿	竹前 紀樹 ○徳重 一雄	○竹前 紀樹 一	竹前 紀樹 ○石坂 繁寿	○徳重 一雄 一	○印は初診担当です 水曜頭痛外来(初診)	竹前 紀樹 (脳腫瘍・脳血管障害・頭痛) 徳重 一雄 (脳腫瘍・脳血管障害・頭部外傷) 石坂 繁寿 (脳神経外科一般)
皮 膚 科	齋木 實	齋木 實	齋木 實	齋木 實	齋木 實		
泌 尿 器 科	岡根谷利一 ○西澤 秀治	西澤 秀治 上垣内崇行	岡根谷利一 西澤 秀治	西澤 秀治 ○岡根谷利一	岡根谷利一 上垣内崇行	○印の診察は午前10時30分からです。	岡根谷利一 (悪性腫瘍・前立腺肥大) 西澤 秀治 (小児泌尿器・尿路結石) 上垣内崇行 (尿路結石・前立腺肥大)
婦 人 科 午後 専門外来 (予約制)	○森 篤 井吹 ゆき	○信大医師 一	○森 篤 井吹 ゆき	森 篤 井吹 ゆき	○森 篤 井吹 ゆき	○印は初診担当です	森 篤 (悪性腫瘍・不妊症) 井吹 ゆき (婦人科一般)
眼 科	風間 淳 千田 奈実	風間 淳 千田 奈実	風間 淳 千田 奈実	風間 淳 千田 奈実	風間 淳 千田 奈実		風間 淳 (眼科一般) 千田 奈実 (眼科一般)
耳鼻いんこう科	野村 康	野村 康	一	野村 康	野村 康		
放 射 線 科	一	橋田 巖	一	橋田 巖	橋田 巖		橋田 巖 (放射線治療) 今井 裕香 (画像診断)
歯 科・ 口 腔 外 科	藤森 林 田村 稔	田村 稔 藤森 林	藤森 林 田村 稔	信大医師 信大医師	藤森 林 田村 稔	初診・午後外来手術 再診	田村 稔 (口腔腫瘍) 藤森 林 (口腔外科一般)

医 師 人 事 異 動

- *退職 (三月三十一日付)
 - 脳神経外科科長 高澤 尚能
 - 循環器科医長 (浅間総合病院へ) 黒河内典夫
 - 消化器科医長 (昭和伊南総合病院へ) 新倉 則和
 - 消化器科医長 (信大医学部第二内科へ) 海野 純
 - 消化器科医師 (飯山赤十字病院へ) 古屋 志野
 - 呼吸器科医師 (篠ノ井総合病院へ) 佐野 貴史
 - 形成外科医師 (飯田市立病院へ) 山本 裕香
 - 眼科医師 (北信総合病院へ) 山本 寛二
- *新任 (四月一日付)
 - 神経内科科長 (信大医学部第三内科より) 山本 寛二
 - 脳神経外科科長 (篠ノ井総合病院より) 徳重 一雄
 - 循環器科医長 (国立松本病院より) 平林 直章
 - 消化器科医長 (信大医学部第二内科より) 立岩 伸之
 - 内科(透析)医長 (信大医学部第二内科より) 掛川 哲司
 - 麻酔科医長 (信大医学部第二内科より) 田中 聡
 - 消化器科医長 (信大医学部麻酔科より) 竹花 直樹
 - 呼吸器科医師 (飯山赤十字病院より) 山崎 誓一
 - 呼吸器科医師 (小諸厚生連病院より) 山崎 誓一
 - 眼科医師 (北信総合病院より) 千田 奈実
 - 形成外科医師 (昭和伊南総合病院より) 三島 吉登
 - 婦人科医師 (信大医学部産婦人科より) 井吹 ゆき